

研究タイトル：

農林水産業の6次産業化



氏名： 一森 勇人 / Ichimori Hayato E-mail: ichimori@anan-nct.ac.jp

職名： 准教授 学位： 博士(工学)

所属学会・協会： 日本化学会

キーワード： 食品、加工、産業化

技術相談

提供可能技術：

- ・食品分析・加工
- ・放射線工学・教育
- ・蓄光セラミックスの開発

研究内容：

おからの有効活用 に関する研究

食料とエネルギーの大半を輸入に依存している日本にとって、廃棄される食品を有効活用することは重要である。おからは現在、国内で産業廃棄物として年間約 70 万トン（未乾燥の状態）発生している。



図1 おからの成分

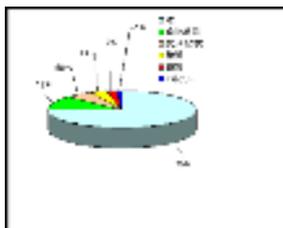


図2 抽出後の資料

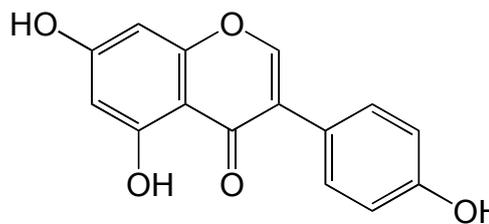


図3 ゲニステイン(フラボノイドの一種)

目的

本研究では、豆腐の製造過程から産業廃棄物として出されるおからから、バイオ燃料と健康食品成分を抽出することを目的とした。

方法

エタノールを用いて、脂質成分とたんぱく成分を抽出した。

成果

- 1) 脂質成分をバイオ燃料の材料として抽出できた。
- 2) 抽出物中にイソフラボンが多量に含まれており、健康食品もしくは食品添加物としての用途に、地元食品加工業者、酒造業者が、興味を示している。
- 3) 知的財産 本技術は、2009年3月に特許出願を行った。

その他の技術協力可能分野

環境に関する技術相談に対応できます。竹の有効活用、廃棄食品の再加工、二酸化炭素の分離・貯蔵について研究開発している。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	